（名称）

第 1 条 本団体は、「中部大学書道部」と称する。

（目的）

第 2 条 本団体は、書道を通じて、文化生活と精神の充実を図ることを目的として活動する。

（活動）

第 3 条 「中部大学クラブに関する規程」に則り、活動を行う。

第 4 条 本部は、第 2 条の目的を達成するため、以下の活動を行う。

- （1） 書道に関する技術・知識の向上に関する活動。
- （2） 展示会への出品等、日々の練習の成果を確認するための活動。
- （3） 書道の魅力を外部の人に知ってもらうための活動。

（組織構成）

第 5 条 本団体は、本学学生と顧問、指導員により編成される。

（役員）

第 6 条 本団体には、部長、副部長及び会計を置く。部長は本部の代表者であり、すべての任務を総括する。また、必要に応じて新たな役職の設置、および役員の増員を行える。副部長は部長の補佐に努める。また、部長に支障がある場合にはその任務を代行する。会計は領収書や支払証明を管理し、援助金の申請を行う。また、年度末に収支決算報告書を提出する。

（顧問）

第 7 条 書道部に顧問を置く。顧問は中部大学の教職員をもって充て、学長が任命する。また、その任期は特に定めない。

（会計）

第 8 条 部員は、活動のために紙や墨などを購入する際、会計から伝えられる金額を都度納める。

第 9 条 会計年度は原則、4 月から翌年 3 月までとし、年に一度、部員に会計報告を行い、承認を得るものとする。

（入部及び退部）

第 10 条 入部希望者は、部長にその旨を伝え、規約や規則等の説明を受け、入部願を提出する。

第 11 条 退部を希望する部員は、部長にその旨を伝え、退部願を提出する。

第 12 条 部長は退部を希望する部員に対して、速やかに手続きを行うものとする。また、役員である者は、必ず後任を選出し、その者に引き継ぎを行った後、退部を認める。

(規約の変更)

第 13 条 規約の変更は、役員の会議を経た後、部員の承認を得るものとする。

(事故防止の義務)

第 14 条 書道部の構成員すべてが事故を未然に防ぐ能力を取得し、常に自己を防ぐための最善の努力をしなければならない。万一、不測の事態が発生した場合、人命救助を最優先する。

(罰則等)

第 15 条 部員が以下の行為を行った場合は、その程度により注意喚起し、退部を促すことがある。

- (1) 第 2 条の目的から外れた活動を行ったとき。
- (2) 役員が職務を遂行しなかったとき。
- (3) 第 8 条に定める部費を納めなかったとき。
- (4) 本団体の活動を著しく妨害したとき。
- (5) 学生が本学の定める諸規則に違反し、学生としての本分に反する行為があったとき。

附 則

本規約は 2010 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

本規約は 2025 年 4 月 1 日から施行する。